

EAR EAR 912 ¥1,980,000

高津 インピーダンス切り替えが可能なMC昇圧トランスを内蔵します。フォノ出力、ライン入力にもトランスを用い、出力はバランスもアンバランスもトランス出力です。設計にプロ機の匂いを感じますね。トランスを駆使する回路のイメージが音にも表れ、「ホリー・コール」は、ファンダメンタル帯域にエネルギーのある、ドンツと落ち着いたバランスでヴォーカルが出て来ます。特にワイドレンジというのではないですが、肉付きのいい女性ヴォーカルの色気が出ます。ピアノの音色に幅があつて悠然としてリッチ。華美ではないけれど、上品で豪華です。

篠田 妖艶で、しかも品がいいヴォーカルです。明瞭で解像感が高く、リアリティがあります。老獪な音作りを感じます。

高津 音像の実在感は「ムター」で際立ちました。広がりとお興行きのある音場の中にヴァイオリンがピタッと定位し、空間にピンポイントで立つ感じが如実に出ます。音像が微塵も揺らいだり膨れたりせず、焦点がピタッと定まって、リアリステイックな弦の佇まいをき

れない音色で表現します。

篠田 たおやかで豊かに広がるスケールの大きなオーケストラのセンター空間に、ヴァイオリンが微動だにせず定位します。しかも、ボウイングの仕草が見えるようなリアリティで再現されますから素晴らしい。音色のきれいさ、多彩さも見事です。

高津 高弦のエネルギーもオーケストラに負けずにスツツと高まって、アタックに力があり、音楽にタメが利いているんです。

LPレコードの「ピーターソン」は正攻法で堅実。CD再生ほどの驚きは感じませんが、優雅な雰囲気があつて暖か。ピアノの音像が力強く、エネルギーッシュに前に出て来る辺りが聴かせ方の持ち味ですね。

篠田 「若い頃に聴いていた『ウィ・ゲット・リクエスト』って、こらだつたよね」という、タイムスリップしたような感じがします。音自体が新しさを感じさせるといいうのでなく、録音の時代に合った、CDとはまた別の「これぞアナログ」という鳴り方なのかもしれません。存分に楽しめる再現です。

弦の佇まいが微動だにせず浮かび上がる。
LPは「これぞアナログ」という存分の表現

